2025 年 1 月 14 日

BCJ-92 による公開買付けに関する株式会社ジャムコの賛同の意見表明のお知らせ

民間航空機内装品のリーディングメーカーである株式会社ジャムコ（以下「ジャムコ」）は、本日、全世界で約 1,850 億米ドルの運用資産を持つ国際的投資会社であるベインキャピタルによる全発行済株式の公開買付け（TOB）の開始予定に関する賛同の意見を表明しました。
規制当局の承認後、公開買付けは 2 月に開始され、20 営業日以内に終了する予定であり、その後、2025 年半ばに東京証券取引所の上場廃止基準に従い、所定の手続を経て上場廃止となる予定です。

ジャムコの代表取締役社長 CEO である恒松孝一氏は、次のように述べています。
「日本で 20 年の確固たる実績を持つ世界トップクラスの投資会社であるベインキャピタルとの戦略的提携を大変嬉しく思います。ベインキャピタルの強力な支援のもと、財務並びに人材面の強化、成長分野への投資、そして経営変革の取り組みを加速していきます。構造改革のスピードを上げ、企業価値向上と将来の成長に向けた土台づくりとして事業基盤の強化を図っていくことを目指します」

ベインキャピタルの日本代表・アジア太平洋地域責任者である杉本勇次は、次のように述べています。
「70 年以上にわたり世界の航空宇宙産業において革新的なサプライヤーであり続けているジャムコとパートナーシップを結べることを大変光栄に思います。経営基盤の強化と事業変革の加速を支援し、当社のオペレーション・スキルと広範なグローバルのリソースを活用することで、ジャムコがポテンシャルを最大限に発揮できるよう共に努めていきます」

ベインキャピタルは、ジャムコの筆頭株主（2024 年 9 月 30 日現在）である伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠商事」）との間で公開買付応募等契約を、第 2 位株主（2024 年 9 月 30 日現在）である ANA ホールディングス株式会社（以下「ANA ホールディングス」）との間で公開買付不応募契約を、第 3 位株主（2024 年 9 月 30 日現在）であり、ベインキャピタルの投資先である昭和飛行機工業株式会社（以下「昭和飛行機工業」）との間で公開買付不応募契約を締結しています。また、伊藤忠商事、ANA ホールディングス及び昭和飛行機工業は合わせて、ジャムコの 60.82%の株式を保有しています。

ベインキャピタルは、昭和飛行機工業、プロテリアル（旧日立金属）、ヴァージン・オーストラリア、ITP Aero、MRO Holdings、Precinmac、KP Aviation、Griffin Asset Management など、航空宇宙及び防衛バリューチェーンにおける豊富な投資実績を有しています。2006 年に東京オフィスを開設して以来、投資先企業とのパートナーシップにより、エビデント（旧オリンパスの科学事業部門）、プロテリアル、キオクシア（旧東芝メモリ）、すかいらーく、ベルシステム 24、大江戸温泉、マクロミル、日本風力開発、Works Human Intelligence、昭和飛行機工業など、37 社を超える日本企業への投資、拡大、強化を行ってまいりました。現在、日本では 70 名以上のプロフェッショナルが 23 社の投資先企業に対してハンズオンの支援を提供しています。

ベインキャピタルについて
Bain Capital, LP は、投資家、チーム、ビジネス、コミュニティに永続的なインパクトをもたらす国際的な投資会社です。1984 年の創業以来、ベインキャピタルは、インサイトと経験を活かし、プライベート・エクイティ、クレジット、パブリック・エクイティ、ベンチャー・キャピタル、不動産、ライフサイエンス、保険、その他の戦略的重点分野を含む数多くの資産クラスのオーガニックな成長を実現しています。世界 4 大陸にオフィスを構え、従業員数は 1,850 人を超え、運用資産は約 1,850 億米ドルに上っています。
詳細は www.baincapital.com をご参照ください。